

より速く安全な新しいInternet Explorer 11 [PR]

ライフ

川柳を書く 0

ツイート 27

おすすめ 2



【大人の遠足】

神奈川・横須賀美術館「恋人の聖地」にも認定 谷内六郎の原画1300点を所蔵

2013.11.9 18:00 (2/3ページ)

プロポーズにふさわしい場所「恋人の聖地」にも認定されており、カップルにもお勧めだ。結婚式を行うことも可能という。

■近現代美術作品が中心

展示品の充実は言うまでもない。本館1階の「展示室・ギャラリー」では年約5回、企画展を開催。来年1月11日からは、横須賀市立の幼稚園から高校までの園児や生徒らが授業で作った作品約3千点を展示する「第66回児童生徒造形作品展」が開催される。

本館の地下と併設の「谷内六郎館」では年4回、同館の所蔵品約4500点を入れ替えながら展示している。所蔵品は日本の近現代美術の作品が中心で、うち約1300点は谷内六郎氏(1921～81年)の原画だ。

谷内氏は「週刊新潮」の表紙絵を創刊号から26年間にわたって担当。子供の頃の思い出や故郷の風景を詩情たっぷりに描いた。観音崎近くにアトリエを持ち、観音崎の灯台や海を好んで描いたという。

作品をじっくりと眺めて歩いているうちにふと思立ち、谷内氏が絵の題材にしたという「観音崎灯台」に足を向けた。美術館と同じ公園の中にあり、歩いて数十分の距離だ。明治2(1869)年、日本初の洋式灯台として点灯したことで知られ、中学生以上は、灯台の参観業務に当てる寄付金200円を支払って内部に入る。



神奈川県立観音崎公園の中に建つ横須賀美術館
=同県横須賀市鴨居